

のアルバム

▼3月9日 市役所



「街」に誇りと関わりを！

中主中学校3年生の各クラス代表の生徒（4人）が「この街大好きプロジェクト」の報告に市役所を訪れました。

このプロジェクトでは、3年生が野洲市を「ずっと住み続けたい街」にするにはどうすればよいかをテーマに総合学習の時間で1年間学習を深めてきました。

この日は、環境、福祉、交通安全防犯、観光・特産物の4項目について、ねらいや問題点を示しながらさまざまな提案を行い、「私たち自身が街に誇りを持ち、街づくりに関心を持っていきたい。」と語ってくれました。

野洲市の未来を担う皆さんの取り組みに期待をしています。

消防記念日記念式典にて表彰

湖南広域消防局で平成30年消防記念日記念式典が開催されました。

この日は、同消防局管内（湖南4市）の地域防災に尽力された自衛消防組織と事業所に感謝状の贈呈と防火ポスター展において、素晴らしい作品を出品した小学生が表彰されました。

本市では、防災功労表彰として、万葉台自主防災隊と近江鉄道㈱あやめ営業所が消防局長感謝状を、防火ポスター展表彰では、中主小学校在籍の村山真基さんが消防局長表彰銀賞を受賞されました。

皆さんの防火・防災活動の取り組みに感謝申し上げます。

▼3月4日 北消防署



◀防火ポスター展 消防局長表彰
銀賞：中主小学校 村山真基さん 作

▼2月17日 永原



国の史跡指定をめざして

市では、徳川家康・秀忠・家光の三代将軍が宿泊した永原御殿跡「本丸」で実施した発掘調査の成果を皆さんに知っていただくため、現地説明会を開催しました。

当日は、市内外から約400人の参加者が集い、建物跡をはじめ城郭を思わせる土塁や矢倉跡を見学し、野洲の歴史を学んでおられました。

また、妓王まちづくり推進協議会の皆さんには、駐車場誘導などにご協力いただいたほか、江部自治会館前で豚汁などのふるまいが盛況に行われました。

歴史の小窓

—学芸員のメッセージ—

163

歴史民俗博物館 ☎587-4410、Fax587-4413

兵主祭 —近江国兵主郷の春まつり—

野洲市五条にある兵主大社は、「兵主郷」と呼ばれる地域を守る神様として古くから篤く信仰されています。

「兵主郷」とは、兵主大社を中心とした集落の連合体です。それを構成する集落は時期によって変わりますが、現在において「兵主郷」と呼ばれる地域は、兵主大社の摂社がある地域となります。つまり、居住する集落を守る神様の社が兵主大社に属している地域です。

「兵主祭」は、この「兵主郷」の春まつりです。野洲市安治に伝わる古文書、明応6年（1497）の「いろいろ帳」には、「兵主十八かう（郷）」、「四月御まつり」とあることから、室町時代にはすでに祭りが行われていたと考えられます。

現在の「兵主祭」は、同郷の農作物の豊かな実りと平穏を祈って、毎年5月5日に行われています。

この祭りの特色は、摂社からの神輿や太鼓などが兵主大社に集うことです。神輿などがやってくる渡御の列は、比較的新しく始まった子ども神輿や太鼓などから始まります。その後、古い歴史のある吉川集落の神輿を先頭に、堤・小比江・比留田・西河原・安治集落の6基の神輿、そして「大宮」と呼ばれる神輿が最後に進みます。渡御は祭りの見所で、太鼓橋の前で神輿のウノトリ（鳳凰）を抜き取る「ウノトリヌキ」には歓声が上がります。また、朱色が冴える楼門に7基の神輿が揃うと、いっそうに華やかとなります。

つぎに、渡番を中心とした行列が続きます。渡番は「兵主郷」の18集落が1年交代でつとめる役で、その年の兵主祭を取り仕切ります。華やかに稚児や兵主女、神子などが練り歩き、拝殿では献幣祭・古例祭が執り行われ、神様の着物である絹幣などが渡番より奉納されます。昨年の渡番は、西河原自治会（二之宮神社）がつとめました。

博物館では、兵主大社が本年に遷座（神霊がうつったこと）1300年を迎えたことを記念して、「兵主祭」を紹介した写真展を開催しています（詳細は「けいじばん」をご覧ください）。

本展で紹介している写真は、祭りの様子を後世に伝えるために、西河原自治会の人々が記録したものです。古くから郷土に伝わる祭礼への理解を深めることで、先人たちが育んできた信仰や文化を考える機会となれば幸いです。

（博物館学芸員 齊藤慶一）



兵主祭
二之宮神輿の渡御
ウノトリヌキ
辻村耕司氏 撮影
(写真提供：
辻村写真事務所
撮影：平成29年5月5日)



B & G 体育館がリニューアル！

中主 B & G 海洋センター体育館のリニューアルオープン記念式典を開催しました。

同センター体育館は、ブルーシー・アンド・グリーンランド財団（B & G 財団）が昭和 56 年に建築し、その後、旧中主町へ無償譲渡されました。

しかし、建築年数が経過し屋根やアリーナ床面の老朽化が進んでいることから、利用者の皆さんに安心して利用していただくため、同財団の助成制度を活用し、大規模修繕工事を行ったものです。

当日は、同財団の古山常務理事などが参加し、完成を祝うテープカットが行われ、兵主太鼓の演奏も披露されました。

式典に引き続き、総合型地域スポーツクラブさざなみスポーツクラブとびわこ成蹊スポーツ大学の学生による「スポーツ教室」が開催され、参加した小学生の児童たちは、新しくなった体育館で元気いっぱい気持ち良い汗を流しました。

▼3月3日 中主 B&G 海洋センター



総事業費約 2,600 万円（助成金含む）

工期：平成 29 年 10 月～平成 30 年 2 月